

平成 25 年度事業報告

はじめに

大阪府剣道連盟が公益社団法人として歩み始めて、2年目を迎えた本年度は、平成 25 年 3 月に 25 年、26 年度任期の新しい代議員 260 名を選出し、6 月 3 日平成 25 年度定時社員総会を開催した。総会では、新しい代議員により 24 年度実施事業の総括とともに、本年度の事業計画並びに予算を審議・策定した。

本年度の実施事業を概括するとき、まず最初に、明記しておかねばならないことは、教育現場における体罰問題、さらに全日本柔道連盟での暴力事件、不祥事などの発覚がある。これらはあってはならないことであり、大阪府剣道連盟としては、これを対岸の火事と見ず、綱紀・安全委員会が中心となり、いち早く対応し、「指導に当たってのガイドライン」を策定、平成 25 年 3 月 19 日付ホームページで「体罰は絶対に認めない」という本連盟としての強い意思をお知らせした。

新しい事業としては、全剣連の主導により、中学校における武道必修化に対応すべく平成 26 年 2 月 24 日「授業協力者養成講座」を実施した。日本人として堅持しなければならない徳目を武道を通じて身につけさせようとする動きは、現在の節操をなくし、人間としての生活軸を失った社会にあって、何も文部科学省だけの意向ではなく社会一般からの要請でもあり、公益法人として大阪府剣道連盟は、これらの動きに機敏に対応し、今後も応分の役割を果たしていきたい。

剣道大会における戦績としては、全日本女子剣道選手権大会における山本真理子選手の 2 連覇という輝かしい成績に象徴されるように各分野で素晴らしい成果をあげている。

また、本年 2 月に開催されたソチ冬季オリンピックは、若い層の能力開花、女子層の飛躍的台頭、ベテラン陣の奮起という 3 方向での力が結集された。このことは、今後のスポーツ界の運営にあたって、非常な示唆に富むものであり、大阪の剣道界にとっても今後の事業展開にあたっての座標軸となるものである。

最後に、監督官庁である大阪府の立ち入れ検査が 11 月 19 日実施された。幸い大阪府剣道連盟の事業は、二、三の指摘事項はあったものの適法に実施されており、適正と評価された。今後は 3 年に一度の割合で検査を受けることになるが、公益法人としての社会的責任の重要性を鑑みるとき適法、適正な事業実施は当然のことであり、監督官庁の監査を受けるまでもなく、十分留意して実施に当たらねばならない。

以下、平成 25 年度事業計画に基づき実施した具体的事業について概括する。

I 公益事業

1、個人会員および登録団体の状況

公益法人の事業は、会員だけを対象としたものではなく、不特定多数の者の利益追求を目的としているため、非会員制度を設け対応している。しかし、そのことにより、一部では、会員となる必要はないと誤解する人たちもいる。本来、剣道は、師がいて、仲間がいて切磋琢磨する、道場文化であるため、ぜひ会員として入会し、共に成長発展を目指して欲しいものである。

個人会員数は、高校生相当年齢 2,445 名、大学生相当年齢 1,154 名、一般 11,848 名であった。なお、中学生以下の登録者は、8,632 名で、その合計は 24,079 名であった。昨年度と比べると、高校生相当年齢及び大学生相当年齢は変化なく横ばい状態で、一般はやや増加となった。

中学生以下の登録者数は、増加の傾向をうかがうことができ、また、個人会員制（登録制）も周知され認識が深まっているものと考えられる。

本年度の入会登録団体は4団体あり、退会登録団体は3団体で、本年度末の登録団体数は552団体と1団体増加した。

2、 講習会の開催及び指導者育成事業（定款第4条第2号）

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図る為、当連盟が主催する講習会を、剣道においては、審判法3回、日本剣道形3回、指導法4回、女子剣道普及のための稽古会・講習会を3回、合計で13回開催したほか、新規事業として、「剣道高段位受審者対象講座」を1回開催して、高段位受審者の合格率の上昇を目指した。

これらに加えて、全剣連後援講習会（日本剣道形）を公認審判員・審査員を中心に受講者を募り、1回行った。

また、地区・職域における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進した。地区においては、審判法14回、日本剣道形8回、指導法5回、合計で27回開催され、職域（大阪剣道協会、中学校体育連盟、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署）においては、10回開催された。

上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年2回の受講を義務づけている。

さらに、本年2月には、全剣連の主導により中学校における武道必修化に対応し、中学校からの要請にこたえられる体制づくりを目指し、「授業協力者養成講習」を実施した。

居合道では、特別強化練習会・夏季講習会など9回実施し、新規事業として、全剣連派遣講師による講習会を1回実施、合計10回の講習会を行った。

杖道では、7回の主要講習会に加えて9回の月例研修会を実施した。

また、三道共通講習会として、例年開催している、「スポーツ安全」を広義に捉え、6月8日（土）大阪市中央体育館大会議室に於いて、「指導のあり方」をテーマに、体罰、暴力問題について踏み込んだ話を聞くべく浜松大学・大学院 中島教授を講師にお迎えして開催したところ、170名が受講し、大きな反響を得た。

暑中稽古・寒稽古の開催については、オール大阪暑中稽古と銘打ち修道館との共催事業として8月3、4日と舞洲アリーナで実施し、4000人以上の参加があった。府内剣道人が一堂に会し、共に汗を流し、自己の存在を確認し、成長を図る場として、今後も一層の成果を期待したい。また寒稽古は1月4、5、6日と中央体育館で実施されたが、午後については、中体連、高体連が独自の事業として寒稽古を実施した。

3、 各種大会開催事業（同条第3号）

- 本連盟主催分・・・ 6月16日（日）第50回大阪杖道大会
- 6月29日（土）第46回大阪府少年剣道大会
- 7月21日（日）第60回大阪府剣道優勝大会
- 9月15日（日）第8回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
- 11月 9日（土）第10回大阪府女子剣道優勝大会
- 本連盟後援分・・・ 9月23日（祝）第43回居合道段別大会

- 10月13日(日) 第36回関西杖道優勝大会
 12月 1日(日) 第55回大阪居合道大会
 本連盟主管分・・・ 4月29日(祝) 第61回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
 5月26日(日) 大阪市長杯第57回市民剣道大会

恒例となった全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会も、第8回を実施し、全都道府県からの参加を得て(小学生47チーム、中学生48チーム(但し大阪府チームは各2チーム出場))、無事に終えることができた。本大会は、文部科学省・総務省主唱による剣道普及発展と地域の活性化を促進するため、(一財)地域活性化センターからの助成を得て、大阪市とともに開催している大会である。

4、 府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣(同条第4号)

次のとおり派遣した。

<剣道>

- | | | |
|--------------------------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月 6日(土)～ 7日(日) | 第48回剣道西日本中央講習会 | 神戸市
宮本、江藤、石原 |
| 4月21日(日) | 第11回全日本選抜剣道八段優勝大会 | 名古屋市
石塚、船津、神崎 |
| 4月29日(祝) | 第61回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 | 大阪市
伊藤、松井、中間、加藤、浦田、木和田、徳岡、矢野 |
| 5月 2日(水)～ 5日(祝) | 第109回全日本剣道演武大会 | 京都市
参加者：414名 |
| 5月22日(水)～26日(日) | 第51回剣道中堅剣士講習会 | 奈良市
平田、太田、山元 |
| 近畿剣道連盟夏季講習会・・・平成25年度より中止 | | |
| 7月15日(祝) | 第5回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 | 東京都
椎葉、北井、辻田、田山、河部、石田 |
| 8月19日(日) | 第68回国体 近畿ブロック大会 | 奈良県天理市
少年男・女、成年女子 13名 |
| 9月 8日(日) | 第52回全日本女子剣道選手権大会 | 姫路市
田山、石塚、山本 |
| 9月15日(日) | 第59回全日本東西対抗剣道大会 | 山梨県甲府市
寺本、平田、江藤、石塚、山本、石田 |
| 9月15日(日) | 第8回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 | 大阪市
小学生チーム 2チーム、中学生チーム 2チーム 計4チーム |
| 9月29日(日)～10月 1日(火) | 第68回国民体育大会 | 東京都足立区
少年：男・女、成年：男・女 計4チーム |
| 10月26日(土)～28日(月) | 第26回全国健康福祉祭 | 高知県宿毛市
大阪府チーム：田中、西本、石丸、廣田、鳥濱、入澤
大阪市チーム：原、植西、増田、川根、宮坂、國次
堺市チーム：柴田、田井、花川、原田、出口 |

11月 3日 (祝)	第61回全日本剣道選手権大会	東京都	古川、萩原、大石
<居合道>			
5月 2日 (木)	第109回全日本剣道演武大会	京都市	参加：70名
7月13日 (土)～14日 (日)	全剣連地区講習会	山口県	参加：65名
9月 7日 (土)～ 8日 (日)	第40回全剣連中央講習会	京都市	中野、光行、本郷
10月12日 (土)	第48回全日本居合道大会	大分県別府市	山内、木村、綿谷、無津呂
<杖道>			
5月 2日 (木)	第109回全日本剣道演武大会	京都市	参加：16名
6月 1日 (土)～ 2日 (日)	第22回全剣連中央講習会	千葉県勝浦市	井関、小山
8月31日 (土)～9月 1日 (日)	全剣連地区講習会	沖縄県那覇市	参加：6名
10月 6日 (土)	第40回全日本杖道大会	北海道札幌市	二段：篠原、三段：宮田、六段：大島谷 参加：31名
平成26年1月18日 (土)～1月19日 (日)	全剣連地区講習会	東京都	参加：17名

5、 称号および段級位の審査並びに段級位の授与 (同条第5号)

段位審査会は、剣道6回、居合道2回、杖道2回実施した。剣道の受審者数は6,345名で、前年より1.6%の増加であった。居合道は前年度よりも減少、杖道は前年度よりも増加した。

6、 功労者の表彰 (同条第6号)

①平成25年度 全剣連 剣道有功賞	高橋 敬明
	河村 泰治
	渡邊 武夫
②八段昇段	剣道
	西川 潔
	玉井 寛孝
	那須 信男
	住野 圭市
③平成25年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞	
豊能地区	豊能町剣道協会吉川剣道クラブ
三島地区	吹田少年剣心会 茨木春日誠武会
	五領剣道クラブ
大阪北地区	関目剣友会 福島区剣友会

大阪南地区	大阪尚武館	玉出剣教
北河内地区	桜丘少剣会	なわて少年剣道推進会
堺地区	初芝剣正会	榎塚台剣道クラブ
	むさし道場	
泉州地区	穴師剣道会	泉佐野中央剣友会
④平成25年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞		
	金賞	河合 五郎
	銀賞	上田 勝
	〃	櫻田 章夫
	〃	森本 泰光
	団体賞	月 曜 会
⑤文部科学省 平成25年度 生涯スポーツ功労者賞		
		高橋 敬明
⑥第52回全日本女子剣道選手権大会		
	優勝	山本真理子 (大阪剣道協会)
⑦第8回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会		
	小学生の部 優勝	大阪府Aチーム
	中学生の部 優勝	大阪府Aチーム
⑧平成25年度全国警察剣道選手権大会		
	女子の部 優勝	山本真理子
⑨第43回全国中学校剣道大会		
	個人戦の部 優勝	内橋 響希 (PL学園中学校)
⑩感謝状の贈呈		
		大塚製薬株式会社 井関食品株式会社

7、 その他大剣連の目的達成のための必要な事業（同条第7号）

①普及活動の推進

会員の活動状況の把握に努めると共に、普及委員（地区担当理事）を中核として9地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

◇地区および職域講習会の開催

各地区・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して37回開催され、活発な活動が行われた。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された30回の剣道大会に後援、援助を行った。

◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生を対象に、64回の昇級審査会が開催された。

◇予算措置

9地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し、援助を行った。

◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページの活用について検討を続け、ツイッター・メールマガジン・行事の写真・動画の配信を引き続き推進した。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を提供している。

②安全対策

安全講習会

「スポーツ安全」を広義に捉え、6月8日に大阪市中央体育館大会議室に於いて、「指導のあり方」をテーマに、講習会を開催した。

本年度は、体罰、暴力問題にスポーツ界全体が揺れ動いた年であり、剣道連盟としても体罰と暴力問題に詳しい中島先生を迎え、研修会を実施した。

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、大剣連主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

◇スポーツ安全保険

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全会員団体に送付し、加入を促している。把握している加入数は190団体 2,834名と横ばい傾向にある。なお一層の加入者数の増加に努めたい。

傷害発生傾向

事故・傷害の保険適用件数は92件で、昨年度に比べ若干増加した。重大事故・重大傷害の発生は報告されていないが、四肢の捻挫や骨折が多く、その状況は、転倒や稽古者同士の接触によるものが多数報告されており、稽古の方法について一考の必要があると考える。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也増加の傾向にあるので、各登録団体において、事故防止・交通安全指導をお願いしたい。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

II. 収益事業

1、全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計1,067冊を販売した。

2、広告等募集事業

大会プログラムに広告掲載を各方面より募集し、総数32件、総計720,000円の協力を得た。

III. 共通事業

事業活動組織

常任理事会を4回、理事会を5回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動の円滑な遂行のため、委員会間の連携を図り、活発な活動を行った。常置委員会として、総務・法規整備、綱紀・安全、個人情報保護管理、補助金審査、財務、未来構想、IT・広報、普及、講習会、審査員選考、審判員選考、審査、審判、強化、事業、少年、居合道、杖道の18専門委員会を設置、強化委員会の中には一般男子、女子部、高体連、中体連のグループを設置し、それぞれの領域で活動を行った。さらに、平成23年度から個人会員制を実施したことに伴い、IT委員会中心に事務全般にわたるシステム化を推進し、事務局保存資料のPDF化にも着手した。

平成25年度事業報告 資料

I 剣道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

講習会名称		実施回数	指導者数	参加者数
連 盟 主 催	審判講習会	3回	11名	170名
	日本剣道形講習会	3回	10名	166名
	指導法講習会	4回	37名	156名
	女子稽古会・講習会	3回	15名	124名
計		13回	73名	616名
地 区 職 域	審判講習会	19回	41名	1,281名
	日本剣道形講習会	13回	31名	849名
	指導法講習会	5回	17名	194名
	計	37回	89名	2,324名
合 計		50回	162名	2,940名

9月29日（日）全日本剣道連盟後援講習会 日本剣道形 於舞洲アリーナ
全剣連派遣講師：濱崎 満 範士 参加：96名

(2) 各種大会の開催

<剣道>

5月26日（日）大阪市長杯第57回市民剣道大会 （大阪市主催、大剣連主管）
優勝：男子の部 トールエクスプレスジャパン(株)大阪 於修道館
女子の部 総合警備保障(株) 参加：70チーム
387名

6月29日（土）第46回大阪府少年剣道大会
兼 第8回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会大阪府予選会 於舞洲アリーナ
優秀チーム 参加：215チーム
高学年：寺内剣友会、小山田源流館、三劔会 635名
低学年：竹の子剣道クラブ、小曾根剣友会、寺内剣友会

7月21日（日）第60回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館
優勝：男子一般 トールエクスプレスジャパン(株)本社 参加：211チーム
女子一般 大阪剣道協会 1,088名
高校男子 上宮高等学校

9月15日（日）第8回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会（大阪市・大剣連主催）
於舞洲アリーナ 参加：小学生の部 47チーム
中学生の部 48チーム
小学生の部 優勝 大阪府Aチーム
中学生の部 優勝 大阪府Aチーム

11月 9日(土) 第10回大阪府女子剣道優勝大会 於舞洲アリーナ
 個人戦の部 優勝 一部：大石 二部：鳥濱 三部：足立 参加：113名
 団体戦の部 優勝 一部：大阪剣道協会A 二部：春風会D 参加：36チーム
 104名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行なった。

(3) 各種予選会の開催

4月14日(日) 第5回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選 於修道館
 代表：北井、辻田、田山、河部、石田 参加：41名

5月19日(日) 第68回国民体育大会・成年の部・大阪府予選 於修道館
 代表：(男子) 吉田、大石、佐藤、江藤、伊藤 参加：114名
 (女子) 山本、畠中、石田

6月 1日(土) 全国健康福祉祭剣道交流大会予選会 於大阪市中心中央体育館
 参加：35名

代表：(大阪府チーム) 田中、西本、石丸、廣田、鳥濱、入澤
 (大阪市チーム) 原、植西、増田、川根、宮坂、國次
 (堺市チーム) 柴田、田井、花川、原田、出口

6月15日(土) 第52回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選 於修道館
 代表：田山、石塚、山本 参加：19名

8月18日(日) 第61回全日本剣道選手権大会・大阪府予選 於舞洲アリーナ
 代表：古川、萩原、大石 参加：60名

平成26年2月23日(日) 第62回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選 於修道館
 代表：奥山、嘉数、高、村上、前田、山岡、新屋 参加：165名

(4) 審査会

6月 8日(日) 高槻市総合スポーツセンター
 7月27日(土) 大阪市中心中央体育館
 10月 5日(土) 舞洲アリーナ
 11月23日(祝) 堺市金岡公園体育館
 平成26年 1月11日(土) 舞洲アリーナ
 3月23日(祝) 舞洲アリーナ

	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	合 計	前 年 比	
受審者数	2,814	2,077	670	444	340	6,345	+170	+1.6%
(うち女性)	965	561	197	121	71	1,915	+ 32	+9.7%
合格者数	2,120	1,300	354	216	147	4,137	+ 18	+0.4%
(うち女性)	665	388	99	27	13	1,192	+ 97	+8.9%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八 段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比
受審者数	601	409	351	74	56	—	1,491	△ 13 △0.9%
合格者数	103	55	3	74	56	—	291	+ 43 + 17.3%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月21日(日) 第60回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館
 演武 日本剣道形 北村宏二 — 吉田一秀
 小野派一刀流 井上勝由 — 野村光輝
 宝蔵院流槍術 前田繁則 — 尾野好司

8月 3日(土) ~ 4日(日) 暑中稽古 於舞洲アリーナ
 参加者：約4,000名

平成26年 2月11日(祝) 第18回大阪武道祭 演武 於大阪市中央体育館
 参加：大阪府警察本部剣道特別訓練員12名及び指導者1名

全剣連主催による次の講習会を主管した。

12月 6日(金) ~ 8日(日) 於コスモスクエア交際交流センター
 第40回社会体育指導員(中級)養成講習会

Ⅱ 居合道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

5月18日(土)	第1回特別強化練習会・全日本居合道大会選考会	於修道館	参加：139名
8月4日(日)	第2回特別強化練習会	於修道館	参加：153名
8月17日(日)	夏季居合道講習会	於千島体育館	参加：195名
9月14日(土)	全剣連伝達講習会	於府立体育会館	参加：139名
平成26年1月12日(日)	新年合同稽古会	於修道館	参加：101名
2月9日(日)	第3回特別強化練習会	於修道館	参加：167名
2月11日(祝)	高段者特別錬成会(英信流)	於修道館	参加：25名
2月22日(日)	春季居合道講習会	於千島体育館	参加：189名
3月9日(日)	無外流特別錬成会	於和泉市幸小学校	参加：30名
4月6日(土)～7日(日)	全剣連派遣講師講習会	於修道館	参加：延210名
全剣連派遣講師：武田 清房 範士			

(2) 各種大会の開催

9月23日(祝)	第43回居合道段別大会	於修道館	参加：165名
(初段は優秀演武者、初段～六段は優勝者、七段は最優秀演武者のみを記載)			
<男子> 段外：太村(興隆会)・辻(振興会)・末廣(春風会)			
初段：堀(交通局) 二段：橋本(交通局) 三段：永井(水月会)			
四段：前岩(春風会) 五段：吉田(春風会) 六段：川下(水月会)			
七段：伏見(石切剣会)			
<女子> 初・二段：松元(近畿大) 三・四段：藤原(水月会)			
12月1日(日)	第55回大阪居合道大会	於舞洲アリーナ	参加：1,406名
(段外は優秀演武賞受賞者数、初段～六段は優勝者、七段は最優秀演武者並びに福田一男杯受賞者のみを記載)			
<男女混成> 段外：30名			
七段…福田一男杯受賞者：大垣俊三(広島)			
…最優秀演武者：山田 博(千葉)			
<女子の部> 初段：松本恵李那(同志社大) 二段：古川由佳子(岐阜)			
三段：鈴木佳果(神奈川) 四段：久保博美(兵庫)			
五段：稲荷有子(神奈川) 六段：佐野静枝(大剣協)			
<男子の部> 初段：山本 祐(同志社大) 二段：藤井芳隆(竜谷大)			
三段：竹藪直人(同志社大) 四段：神子田千起(京都)			
五段：井出烈太郎(福岡) 六段：原田 渡(神奈川)			
<団体の部> 優勝：水月会 2位：無外流交通局			

(3) 各種予選会の開催

5月18日(土)	第48回全日本居合道大会大阪府選手選考会	於修道館	参加：139名
監督：山内 選手：木村、綿谷、無津呂			

11月 2日(土) 第55回大阪居合道大会大阪府予選会 於修道館

参加: 180名

3位: 無外流振興会・春風会A 決勝戦は、12月1日大阪居合道大会で実施した。

(4) 審査会

8月25日(日) 於修道館

平成26年 3月 2日(日) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	23	27	27	28	13	118	△28名
合格者数	17	20	20	12	6	75	△25名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	18	7	9	3	—	—	37	△2名
合格者数	4	3	0	3	—	—	10	△3名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月21日(日) 第60回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館

演武 無外流小太刀之形 久保田清一 — 浅野邦雄

平成26年 2月11日(祝) 第18回大阪武道祭 演武 於大阪市中央体育館

参加: 藤本康廣 — 佐々井賢三
中野八郎 — 浅野邦雄

Ⅲ 杖 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 7日 (日) 春季講習会	於東淀川体育館	参加：106名
5月12日 (日) 審判講習会	於川西市総合体育館	参加：41名
6月 2日 (日) 審判講習会	於川西市総合体育館	参加：42名
6月30日 (日) 伝達講習会	於川西市総合体育館	参加：64名
8月 4日 (日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：53名
9月 8日 (日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：42名
11月 2日 (土) 秋季講習会	於東淀川体育館	参加：83名
5月～3月 杖道月例研修会	於川西市総合体育館	9回開催

(2) 各種大会の開催

6月16日 (日) 第50回大阪杖道大会兼第40回全日本杖道大会大阪府予選会
於川西市総合体育館 参加：156名

(優勝者のみを記載)

初段：中津留 (兵庫) 二段：篠原 (玄武館) 三段：宮田 (玄武館)
四段：山口 (和歌山) 五段：渡邊 (住吉武道館) 六段：大島谷 (玄武館)

10月13日 (日) 第36回関西杖道優勝大会 於川西市総合体育館 参加：170名

(優勝団体(者)のみを記載)

<団体戦> 養峻館 A

<個人演武優秀賞> 段外：伊奈 (住吉武道館)、大西 (兵庫)、小柳 (弁天)、
金丸 (和歌山)、増田 (弁天)、山本 (摂南大)

初段：牧野 (夢道場)、三村 (空心館)

二段：坂口 (弁天)、宮田 (玄武館)

(3) 各種予選会の開催

※上記、6月16日 (日) 第50回大阪杖道大会兼第40回全日本杖道大会大阪府予選会に記載

(4) 審査会

4月21日 (日) 於修道館

11月10日 (日) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	25	9	22	12	13	81	+25名
合格者数	21	9	15	9	7	61	+11名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	2	6	1	1	1	—	11	+2名
合格者数	0	0	0	1	1	—	2	±0名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月21日 (日) 第60回大阪府剣道優勝大会 於大阪中央体育館

演武 全日本剣道連盟杖道形 石河和彦 — 古谷重勝
内田流短杖術 中野伊織 — 井関一生
一心流鎖鎌術 帆谷増幸 — 佐藤政子
一角流十手術 近藤眞佐雄 — 坂上 亨

平成26年 2月11日 (祝) 第18回大阪武道祭 演武 於大阪中央体育館

参加：近藤眞佐雄 — 坂上 亨 古谷重勝 — 帆谷増幸

3月21日 (祝) 杖道体験講習会 於森ノ宮医療学園 一般受講者30名

これらの他、普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いだ。

平成 25 年度事業報告 附属明細書

平成 25 年度事業報告には、「一般法施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 26 年 5 月

公益社団法人 大阪府剣道連盟